

基本波型直交フラックスゲートの生体磁気計測への 応用に関する研究

加呂, 光

<https://doi.org/10.15017/1807076>

出版情報：九州大学, 2016, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名	加呂 光		
論 文 名	基本波型直交フラックスゲートの生体磁気計測への応用に関する研究		
論文調査委員	主 査 九州大学	教授	笹田 一郎
	副 査 九州大学	教授	服部 励治
	副 査 九州大学システム情報科学研究所	教授	圓福 敬二

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は室温で動作する基本波型直交フラックスゲートマグネトメータの高分解能化と、安定動作条件の解明に基づく回路の改良によって 36 チャンネル規模での心磁計測に成功し、更に、磁化コイルとグラディオメータ一体構成によってセンチネルリンパ節同定用磁気マーカをリアルタイムに 18 mm の深度で検出することに成功したもので、計測工学、生体磁気工学に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。